

第四回の講座：豊和鍛工流・ISO勉強会

# 第4回 石橋を叩いて渡る「リスクと機会」

～トラブルを予知し、チャンスを掴む～



# ISOは「始末書」を書くための仕組みではありません



従来のイメージ：トラブル発生 → 謝罪・対策書作成  
「起きてしまったこと」への対処 (Correction)



豊和鍛冶流ISO：トラブル予知 → 先回りして対策  
「起きるかもしれないこと」への備え (Prevention)

私たちが目指すのは、未来を予測する「予知能力」を持つ組織です。

# 【用語の定義】リスクとは「石橋を叩く」こと



【用語の定義】 リスクとは「石橋を叩く」こと  
望ましくない影響をもたらす「不確かさ」

ISOにおけるリスクは、単なる危険ではありません。  
「放っておくと困ること、損をすること」です。



- 熟練職人の退職  
→ 技術の断絶（匠の技が消える）



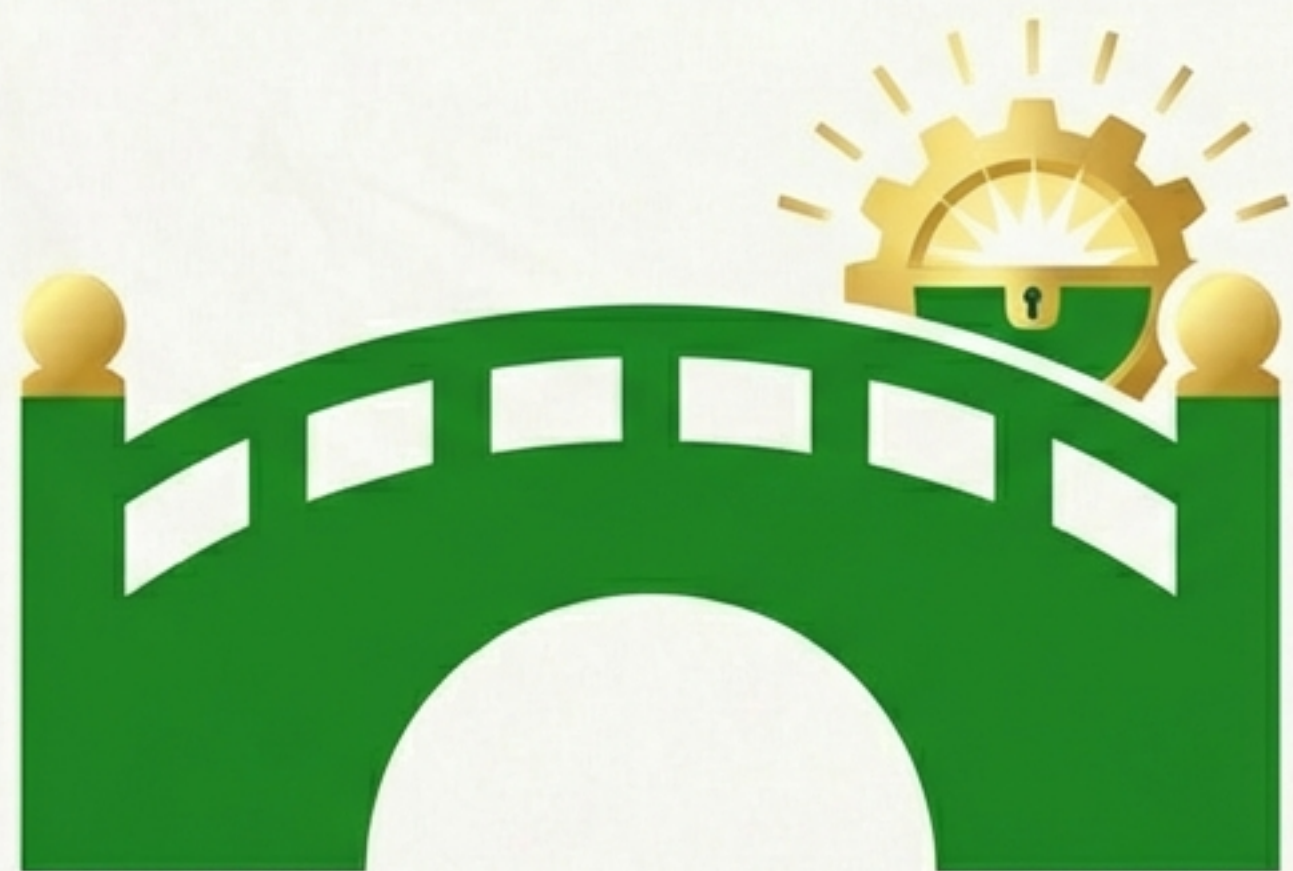
- 設備の老朽化  
→ 突発的な故障・ライン停止



- 原材料の高騰  
→ 利益の圧迫

リスク＝「放置すれば現実になるかもしれないトラブル」

# 【用語の定義】 機会とは「橋を渡って宝を得る」こと



【用語の定義】 機会とは「橋を渡って宝を得る」こと  
望ましい影響をもたらす「不確かさ」

機会（チャンス）とは、「うまく活かせば  
得をすること、成長の近道」です。



• 最新設備の導入  
→ 生産性アップ・品質安定



• 若手へのIT教育  
→ ヒューマンエラーの削減・デジタル化



• 新規顧客の開拓  
→ 売上の拡大

機会＝「掴み取れば会社の強みになる変化」

# リスクと機会は「表裏一体」です



例：新しい法規制（環境規制）が始まったら？

## Risk View

対応コストがかかる、  
今の設備が使えなくなる（ピンチ）

## Opportunity View

他社が対応に遅れれば、いち早く対応  
した豊和鍛工が選ばれる（チャンス）

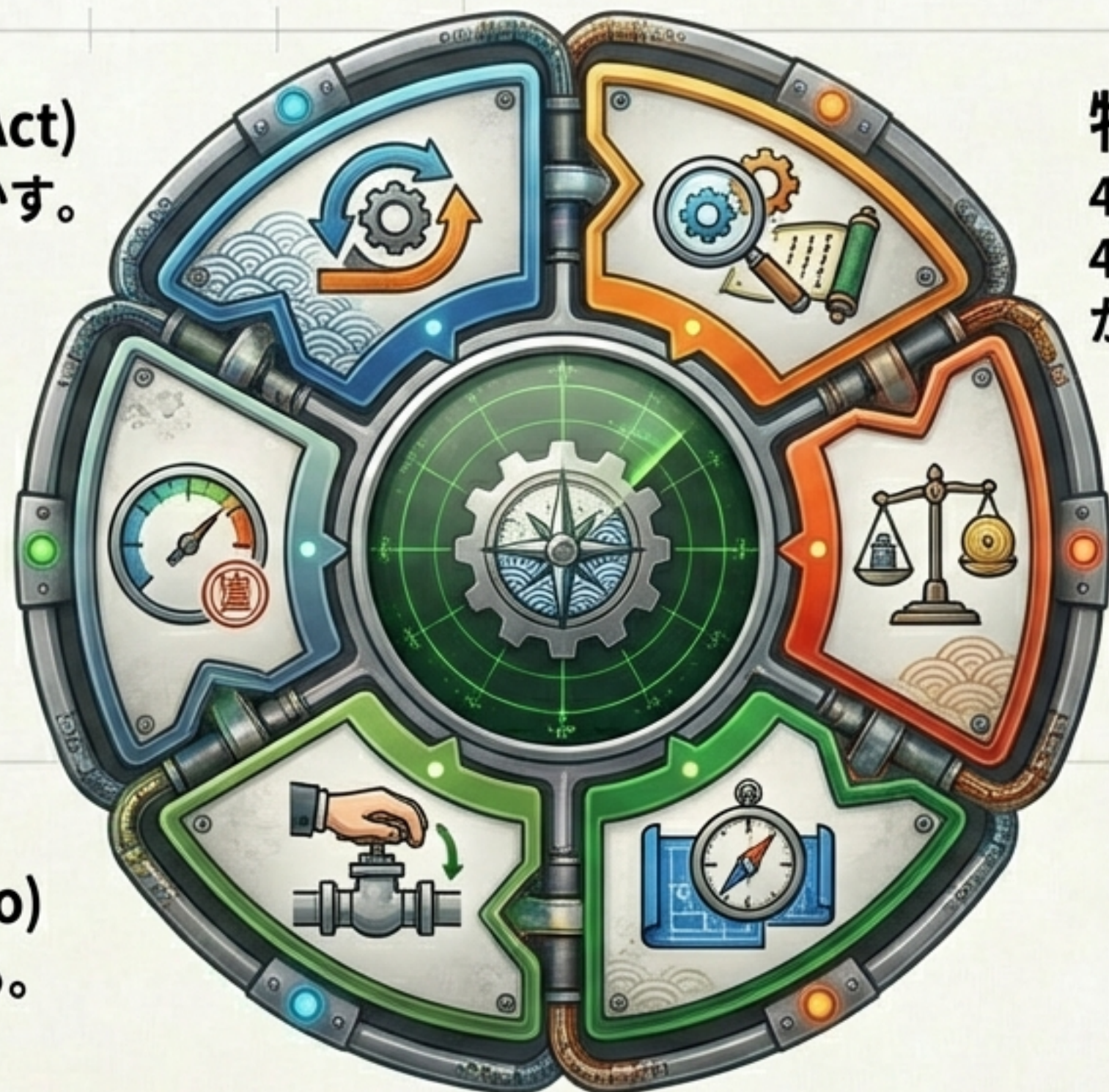
同じ出来事でも、どう捉え、どう準備するかで結果が変わります。

# 豊和鍛工の「未来予知」プロセス

**継続的改善 (Act)**  
経験を次に活かす。

**有効性の確認 (Check)**  
本当に効果があったか  
見直す。

**実施 (Do)**  
対策を実行する。

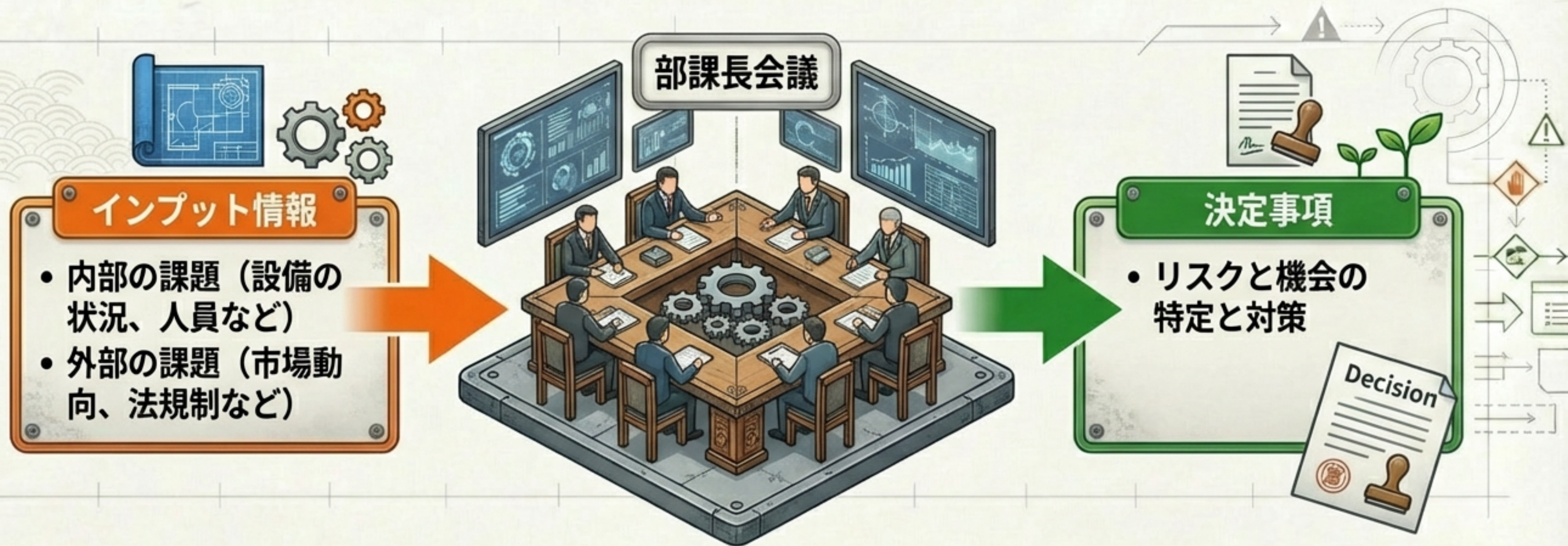


**特定 (Identify)**  
4.1 (内部・外部の課題) と  
4.2 (利害関係者の期待)  
から洗い出す。

**分析・優先順位 (Analyze)**  
影響の大きさや  
発生確率を考える。

**計画 (Plan)**  
どう回避するか？  
どう利用するか？ (6.1.2)

# 誰が決めるのか？ 決定の場は「部課長会議」



リスクと機会の決定は、個人の勘ではなく、組織として行います。  
見直し：原則として年度末に行いますが、必要に応じて随時実施します。

# 予測のための強力なツール：FMEA

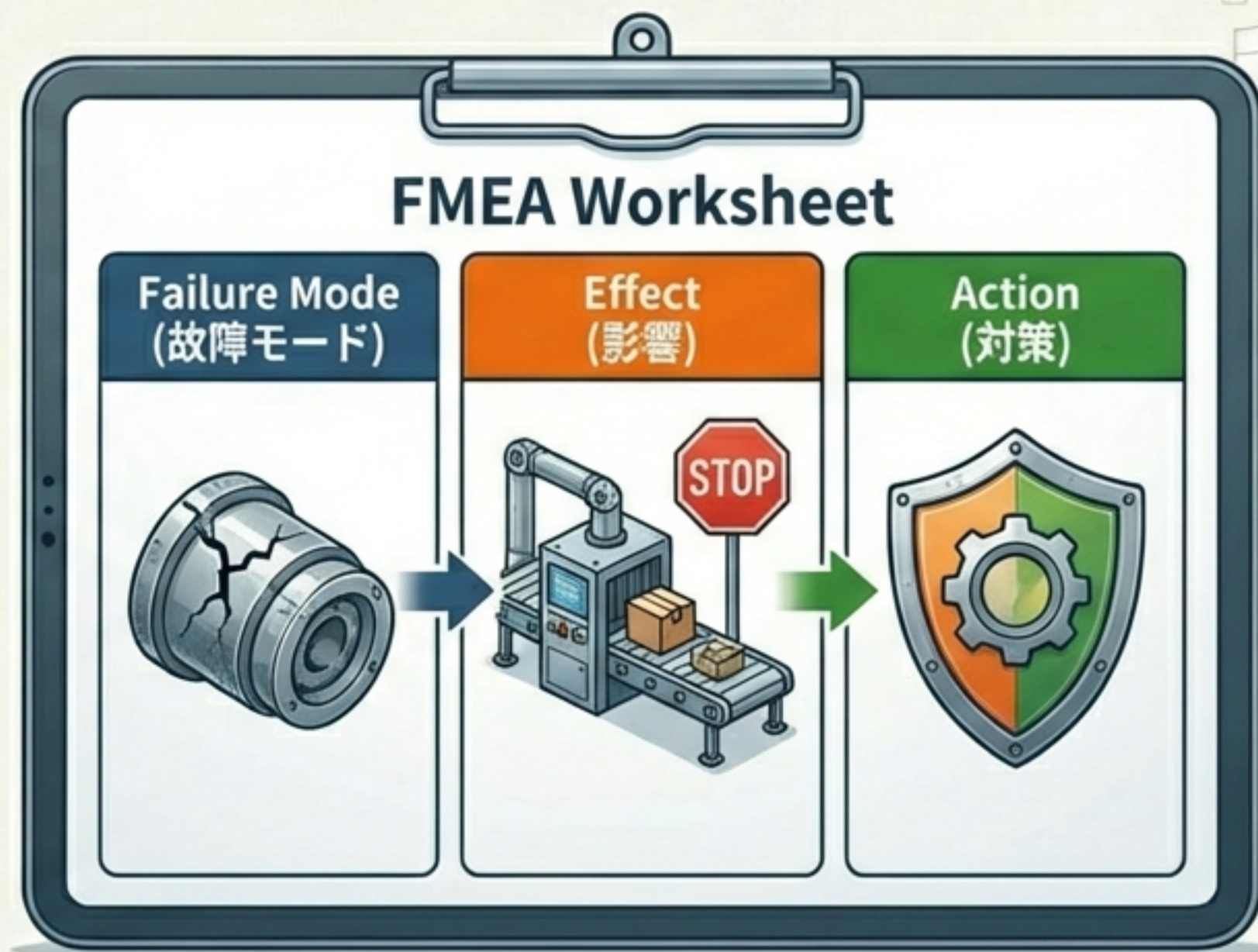
## 故障モード影響解析 (Failure Mode and Effects Analysis)

マニュアル(6.1.2)では、リスクへの取り組みツールとしてFMEAの活用を推奨しています。

これって何? : 「失敗を事前にシミュレーションする」技術です。

### メリット:

- 製品を作る前に「どこが壊れそうか」を考える。
- トラブルが起きる確率と影響度を点数化し、対策の優先順位を決める。



# 現場のあなたの役割①：リスクの「センサー」になる

## 「いつもと違う」 「何かおかしい」は リスクの種

- 機械の異音、振動
- 作業のやりづらさ、ヒヤリとした瞬間
- 「このままだといつか失敗しそう」という予感

これらを班長や課長に報告することが、  
最大の「予防処置」です。



## 現場のあなたの役割②：機会の「ハンター」になる

# 「もっとこうすれば楽になる」 は機会の種

- 「ここに治具があればミスが減るのに」
- 「この記録、デジタル化すれば時間が浮くのに」
- 「この配置を変えれば効率が上がるのに」

あなたのアイデアが、  
会社の新しい「強み」を作ります。



# 活動の証（あかし）を残す：重要な帳票



部課長会議議事録

リスクと機会を決定し、対策を話し合った決定的な証拠。



FMEA（故障モード影響解析）

製品や工程の欠陥を予知し、分析した技術資料。



是正処置報告書

万が一トラブルが起きた際、「リスクが現実化した」と捉え、再発防止策を記すもの。

これらは審査のためだけでなく、私たちの「予知能力」の記録です。

# まとめ：石橋を叩き、そして渡る



- ☑ ISOは**予知能力**：始末書ではなく、未来のトラブルを防ぐためにある。
- ☑ 決定は**組織**で：部課長会議でリスクと機会を**正式**に決める。
- ☑ 主役は**現場**：皆さんの「**違和感**（リスク）」と「**アイデア**（**機会**）」が、豊和鍛工を強くする。

トラブルを未然に防ぎ、チャンスを実際に掴みましょう。

## 次回予告：第5回

# 毎年の『宿題』を 決めよう！年度方針

今回洗い出した「リスク」と「機会」は、  
どうやって会社の目標に変わるのか？  
具体的な数値目標への落とし込み方を解説します。

